



看護の日

看護の心をみんなの心に

「看護の日・看護週間」事業の
新しいキャラクター「かんごちゃん」

5月11日(水)、日本看護協会のラッピングバスが
県庁に来ます！
出発式後、当協会のラッピングバスとともに宇都宮市内を
周回します。



◆PRバスについて

日本看護協会では、若年層に向けて看護の仕事や魅力をアピールするため、2021～24年度の4か年をかけて、全国を4地区に分け「看護の日・看護週間」を中心に、「看護の日」ロゴマークなどをデザインしたラッピングバスを運行して「看護の日」事業をPRしています。

そのラッピングバスが、5月11日(水)、当県にやってきます。

当協会では、令和2(2020)年1月16日(木)から、関東バスの路線バスで、全面にラッピング広告したバスを運行させていますが、この当協会のバスを日本看護協会のバスと併せて活用し、「看護の日・看護週間」をPRすることにしました。

(日本看護協会バスルート)

5/9埼玉県～5/10茨城県～5/11栃木県～5/12福島県～5/13宮城県

(出発式終了後の正午ごろから)2台のPRバスが、宇都宮市内を16時まで運行

県庁発 → JR宇都宮駅前 → 石井街道 → 宇都宮短期大学附属高校 → 宇都宮環状線 → とちぎ健康の森 → JR宇都宮駅前 (このルートを周回します)

◆「看護の日・看護週間」事業について

21世紀の高齢社会を支えていくため、看護の心、ケアの心、助け合いの心を誰もが育むきっかけになるよう、1990年に国は5月12日を「看護の日」、その日を含む日曜日から土曜日までを「看護週間」に決めました。「看護の日・看護週間」を中心に、日本看護協会は都道府県看護協会と共に看護をアピールするさまざまな活動を行っています。

今後、人口減少が進む中では、若い方々により一層、職業選択の場面で「看護」を選んでいただく必要があります。そのため2021年度以降の「看護の日・看護週間」事業では、従来のメインテーマ“看護の心をみんなの心に”を伝えるとともに、対象を主に若年層として「看護の人材確保」を目的とした事業を展開しています。

◆5月12日の由来

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日に制定されました。1965年から、国際看護師協会(本部:ジュネーブ)は、この日を「国際看護師の日」に定めています。

◆栃木県看護協会で行う2022年度「看護の日」記念行事

目的:「看護の日」及び「看護週間」の記念事業として、県民、特に看護職を目指す中学生・高校生を対象に「看護すること、助け合うこと」の重要性をアピールし看護職への理解と関心を深め、看護の心の普及啓発を図るとともに、看護職の人材確保を目的に開催します。

日時:令和4(2022)年5月21日(土) ※同日計2回開催(午前・午後入れ替え制)

午前: 9:30～12:00(受付:9:00～) 午後: 13:30～16:00(受付:13:00～)

会場:とちぎ健康の森 多目的フロア(宇都宮市駒生町3337-1)

対象:栃木県内の高校生・中学生 定員:各回75名程度(計150名程度) ※申し込みは締め切りました

内容:ふれあい看護体験発表/看護学校進路相談会/

看護体験(妊婦体験、高齢者疑似体験、片麻痺体験、白衣体験、聴診器を使ってみよう!)等/職業相談 ほか

5月12日は



看護の日

看護の心をみんなの心に

